

背景 見守り負担の軽減が急務

シニアを見守る生活の中で、

- 普段の生活の中で**異常に気がつかない**
- 離れて暮らす家族にとって**負担になり、心配が絶えない**
- 介助スタッフの負担軽減が求められる

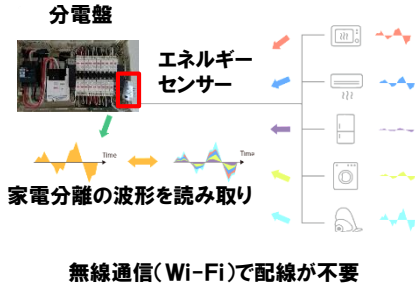


目的 IoT機器等活用による見守り負担軽減

居住者の生活異常を機器で自動通知したり、居住者自身で通報できる仕組みをシニアマンション全住戸に導入。管理員側で異常を一括受信することで、**必要に応じた素早い対応ができる**など、シニアの見守り負担軽減に繋がることを目的としています。

IoT技術(センサー)の概要

① エネルギーセンサー



生活異常を自動で通知



② シニア向け通報システム(付加仕様)

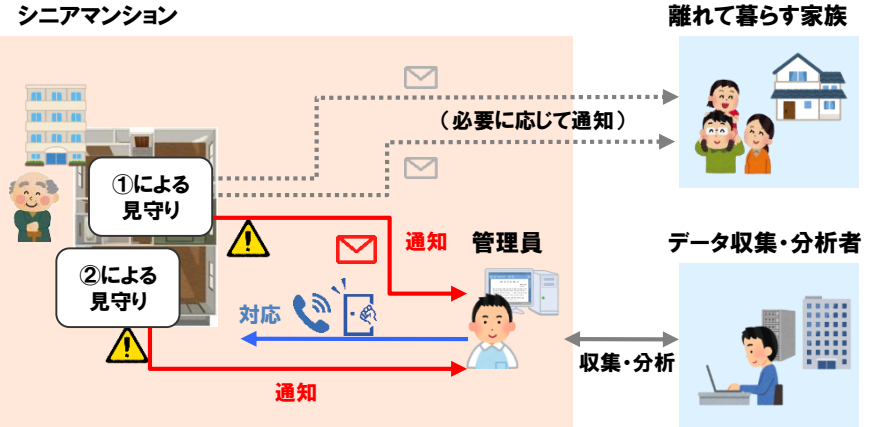
居住者による手動通報



センサーによる自動通報



実証内容・体制 異常通知・対応データを蓄積・分析



- 全居住者の1年間の異常データの収集と分析
- 実証後の負担軽減に関するアンケート調査の実施

普及・将来に向けた展開

新築に限らず**改修への展開**や、医療機関連携による**健康増進のアドバイス**から**介助対応**まで、**更なる負担軽減**に向け取り組む。